

**令和 8 年度事業計画について**  
( 令和 7 年 10 月 1 日 ~ 令和 8 年 9 月 30 日 )

以下の事業運営の基本方針に基づき、令和 8 年度事業計画を推進する。

**<本年度事業運営の基本方針>**

**( 1 ) 青々会会員ネットワークの拡大への取り組み**

- ・「ビジネスネットワークの集い」継続開催による会員ビジネスパーソンの参画促進
- ・在学生対象のキャリアイベントへの参加協力による就職支援
- ・新たな会員連携を組織化する支援

**( 2 ) ホームページの充実と SNS の活用**

- ・ホームページ、交流サイト「アジア青々会ネット」のリニューアルによる情報提供の  
充実
- ・SNS アカウント作成によるリアルタイムの情報提供

**( 3 ) 支部組織活性化に向けての取り組み**

- ・連合会・支部の再編の検討（継続課題）
- ・支部活動へ若手会員参加を誘導する企画の考案

**( 4 ) 大学との協力体制の強化**

- ・学生部他、大学各部署との連携強化による同窓会活動の拡充

**<令和 8 年度事業計画>**

**1. 青々会ネットワークの取組み**

会員ネットワークの連携強化を図り、さらに親睦を深め、相互の発展を図る取組を推進する。

#### 1) 「ビジネスネットワークの集い」の継続開催

SNS等を活用して、広く開催案内を送って参加者を増加させ、勤務する業界等のグループ作りを支援する企画等を盛り込んで、令和8年9月に渋谷エクセルホテル東急で開催する。

#### 2) 就職支援イベントの共催

大学キャリアセンター主催のイベントに卒業生が多く参加できるように工夫を行い、就職支援の場面で青々会の存在感を高める。

#### 3) 新たな会員ネットワークの構築

卒業生の現住所を基本とした支部構成のほか、出身地、出身高校、所属ゼミ・クラブ、勤務業界や業務経験などを共通とする横断的な組織が設置できるよう準備を行う。

## 2. ホームページの充実

#### 1) ホームページのリニューアル

青々会事務局からの総会開催案内、各支部からの支部総会開催概要等の情報について、迅速に情報を配信するとともに、記事へのアクセスが簡便になるようホームページを改修する。

#### 2) 交流サイト「アジア青々会ネット」のリニューアル

卒業生数名のインタビュー記事や卒業生が経営・勤務する店舗等の紹介ページ等を新たに構成する。この情報発信に連動して、更新された情報を迅速に会員に通知できる

よう青々会 SNS アカウントを作成して、青々会をより身近に感じることができる環境を整備する。

### 3. 会報発行(会則第 5 条第 1 号関係事業)

昨年度「青々会報」第 1 2 1 号の発行をもって、既存の形態での会報発行は終刊したため、新たなスタイルで令和 8 年 6 月に発行をする。紙媒体での送付はアンケートによる送付希望者に限定するものの、支部総会で参加者に紙媒体の配付を想定している。その他、PDF 電子ファイルをホームページからダウンロードできることや画面で記事が購読できる環境を整える。

### 4. 定例協議員会の開催(会則第 19 条関係事業)

令和 8 年度定例協議員会を開催する。

開催日 : 令和 7 年 11 月 3 日(月・祝)12 時 20 分～

会場 : 亜細亜大学 5 号館 5 2 1 教室

### 5. 幹事会の開催予定(会則第 22 条関係事業)

開催予定 : 令和 7 年 11 月 3 日、令和 8 年 3 月、6 月、9 月の 4 回開催する。

### 6. 会議・会合の開催(会則第 5 条第 2 号関係事業)

#### 1) 三役会の開催

執行部の連絡協議体として幹事会開催時の定例開催のほか必要に応じて開催する。

#### 2) 大学幹部とのコミュニケーションの促進

大学と青々会との業務分担、相互協力のため、必要に応じて情報交換を行う。

## 7. 興亜神社例祭の挙行

大学との共催による戦没校友の御霊を祀る興亜神社例祭を挙行する。

開催日：令和7年11月3日(祝)：午後3時～午後3時30分

場 所：興亜神社境内

## 8. 令和7年「ホームカミング・デイ」の開催

年に一度、武蔵野キャンパスに世代を超えて卒業生が集い、会員相互の交流を深め、

大学の現状を知り、今後の同窓会活動の発展に繋げるという趣旨で、大学と共催で実施する。

会場： A S I A P L A Z A 日時： 令和7年11月3日(月・祝)午後4時～ 会

費：2,000円

## 9. 「新春の集い」の開催

今年度は、「吉祥寺エクセルホテル東急」(旧第一ホテル)で次の日程での開催と、準備にかかる実行委員は平成3年度卒の卒業生にお願いする予定。

開催日： 令和8年1月30日(金) 午後6時30分～

会 費： 男性8,000円 女性5,000円を予定

## 10. 連合会・支部活動への協力(会則5条第5号関係事業)

1) 若手会員参加への支援

事務局の管理下にある会員情報と、大学キャリアセンターの在学生・卒業生情報を活用して、新卒学生や転職する社会人への地元就職の支援を行い、合わせて支部活動を紹介して、今後の活動参加を促す。新卒生向けに青々会記念品を贈呈し、青々会の存在を知らしめる。

## 2) 連合会・支部総会開催への支援

- ・連合会・支部総会開催における案内状作成及び発送、出欠確認の業務は、関東近県の一部実施の「官製はがき」(片道)での案内に順次移行する。現状の別納往復はがきはコストが高く、会員にとってより合理的な方法として、電話、メール、QRコードでの受付(事務局)とし、合わせて経費削減を図る。これにより、支部総会参加者に青々会記念品を用意する。

- ・今年度も連合会総会には本部からは会長または三役、大学からは学長または副学長及び大学幹部が出席、支部総会には、本部から役員等が出席する。

## 3) 海外支部活動への支援

外国人留学生であった会員と連携・協力関係を維持、発展させるため、海外支部総会を通して交流を図り、今後も多くの外国人が本学に留学できるよう情報提供等の支援をする。

# 11. 在学生活動の支援

## 1) 青々会奨学金

青々会奨学金は、各学部で優秀な成績を修め、大学から推薦された学生に1人10万円の奨学金を授与する。各学科2年生以上で各学年2名、都市創造学部(社会学部)

は2年次以上で各学年1名に授与予定。

## 2) 在学生諸活動の援助

在学生の学友会、県人会連合会、アジア祭、文連祭、クラブ活動及びボランティア活動等に対して、本年度も継続して援助を実施する。

## 3) 青々会賞授与

大学の名声を高めた在学生の個人または団体に対し「青々会賞授与基準」に則り青々会賞の授与を行う。毎年11月3日の協議員会の席上で授与する。

## 4) 学友会執行部との交流

幹事会開催後の懇親会の場を通して、学友会執行部と青々会役員、幹事との交流を図り、青々会活動の理解を深める。

## 12. 組織活性化

1) 大学と連携を取り共同歩調で、連合会・支部活性化に向けて、支部再編成等（継続課題）の諸対応をする。

## 2) 情報セキュリティに関する取組み

大学の情報セキュリティ基準に沿った情報管理に十分配慮し、会員情報の運用を行う。

## 3) 連合会長・支部長会議

毎年11月3日に連合会長・支部長会議を開催し、本部・連合会・支部間の情報交換等により、相互の協力関係の強化を図る。

## 4) 活性化に貢献した支部及び個人の表彰

組織活性化表彰基準に則り支部及び個人の表彰を実施する。

### 13. 在校生応援活動への支援

学友会各団体、硬式野球部、陸上競技部他体育会各団体の全国大会出場時の支援を含む応援活動を実施する。

### 14. 会員自主活動の協力(会則第5条第4号関係事業)

- 1) 会員及び支部役員からの問合せ・相談等の対応
- 2) 会員の大学内見学の支援
- 3) クラブOB会、ゼミOB会、寮関係OB会支援

在学生から提出されるクラブ、ゼミ及び寮関係のOB名簿により修正作業を行うとともに、会合開催の支援とし「名簿印字、宛名シール印字」などを行う。

### 15. 事務局関係(会則第5条第4号関係事業)

- 1) 事業運営の合理化推進

幹事会、協議員会等会議体の運営及び事業実施経費の予算を合理的に活用し、経費を削減する。また、インターネットを使った入出金、振込に順次移行する。

- 2) 日常業務や事業実施の全般で大学事務局と連携

青々会事務局と大学学生部他各部署と定期的に会合を実施し、青々会の存在と同窓会業務への理解を促し、連携を進める。

- 3) 会員転居先不明者追跡調査の継続

会報の不達や支部総会案内状送付の宛先不明での返送分は、年間約1,000件前後であ

り、返送されてきた宛先不明者について調査を実施し、正確な会員情報の把握に努める。

#### 4) 新会員ほか会員情報の収集

令和7年度卒業生の住所、就職先、ゼミ・クラブコード、メールアドレス、SNS等のデータ入力のほか、電子媒体での迅速な情報伝達を行うため、メールアドレス、SNSアカウントを機会あるごとに収集する。

#### < 令和8年度収支予算 >

令和8年収支予算は、別紙「令和8年度収支予算書」に記載のとおりであり、令和8年度事業を推進するにあたり、収支予算とする。

なお、収支予算(案)の概要は以下のとおりである。

- ・ 収入計 : 33,646 千円 ( 前年決算比△4,944 千円 1.4%減 )
- ・ 支出計 : 52,422 千円 ( 前年決算比 6,251 千円 14.2%増 )
- ・ 収支計 : △18,776 千円 ( 前年決算比 6,745 千円支出超過増 )

※支出増要因 : 総会開催増、退職金2期支払、HP改修、記念品購入等の支出増

加

以上